
大阪工業大学

2025 年度 自己点検・評価
(JIHEE 評価基準チェックリスト)

2026 年 4 月

認証評価制度に係る自己点検・評価

認証評価制度は、大学が教育研究水準の向上や活性化に努めるとともに、その社会的責任を果たしていくことを目的として 2004 年度から導入されました。この制度は、すべての大学に義務付けられたもので、文部科学大臣が認証する評価機関（認証評価機関）による第三者評価（認証評価）を 7 年以内ごとに受審しなければなりません。

本学では日本高等教育評価機構（Japan Institution for Higher Education Evaluation 以下 JIHEE）による評価を受審しており、ともに「適合」の認定を受けています。これに加えて自ら点検・評価を毎年度実施することにより、大学の現状把握を行うとともに問題点を認識し、それを改善することにより大学の質保証・向上を目指してきました。

2025 年度から認証評価制度の 4 巡目が始まりました。これに合わせて、本学の自己点検・評価も従来の評価方法を全体的に見直し、JIHEE 第 4 サイクルの新評価システムを基とした大学独自のチェックリストによる評価に変更いたしました。今後もさらなる質保証を目指した取り組みを行ってまいります。

目 次

基準 1. 使命・目的	1	基準 4. 教育課程	11
基準項目 1－1. 使命・目的及び教育研究上の目的の反映		基準項目 4－1. 単位認定、卒業認定、修了認定	
基準 2. 内部質保証	2	基準項目 4－2. 教育課程及び教授方法	
基準項目 2－1. 内部質保証の組織体制		基準項目 4－3. 学修成果の把握・評価	
基準項目 2－2. 内部質保証のための自己点検・評価		基準 5. 教員・職員	16
基準項目 2－3. 内部質保証の機能性		基準項目 5－1. 教育研究活動のための管理運営の機能性	
基準 3. 学生	6	基準項目 5－2. 教員の配置	
基準項目 3－1. 学生の受入れ		基準項目 5－3. 教員・職員の研修・職能開発	
基準項目 3－2. 学修支援		基準項目 5－4. 研究支援	
基準項目 3－3. キャリア支援		基準 6. 経営・管理と財務	21
基準項目 3－4. 学生サービス		基準項目 6－1. 経営の規律と誠実性	
基準項目 3－5. 学修環境の整備		基準項目 6－2. 理事会の機能	
		基準項目 6－3. 管理運営の円滑化とチェック機能	
		基準項目 6－4. 財務基盤と収支	
		基準項目 6－5. 会計	

○日本高等教育評価機構の評価基準に対する大阪工業大学の自己判定基準

自己判定	判定基準
S	評価基準を十分に満たしており、使命・目的を達成する取組みが特筆すべき水準にある。
A	評価基準を満たしており、使命・目的を達成する取組みが適切である。
B	評価基準を概ね満たしているが、使命・目的の達成に向けて一部改善が必要である。
C	評価基準を満たしておらず、使命・目的の達成に向けて改善が必要である。

注) エビデンス資料の添付はなし

基準 1. 使命・目的

基準項目 1－1. 使命・目的及び教育研究上の目的の反映

JIHEE 評価の視点と自己判定の留意点等			担当部署	2025 年度 自己判定 (S・A・B・C)	自己判定が B または C の場合、その理由 /その他備考	※名称の後ろに、該当する「自己判定の留意点」のアルファベットや「指定するエビデンス資料」の番号 を記載ください（例：○○規定〈A_a〉、○○ガイドブック〈A_b〉、○○議事録〈b〉） 該当するエビデンスがない場合は「なし」と記入ください。	
評価の視点	自己判定の留意点	指定するエビデンス資料				<指定するエビデンス資料>	<エビデンス資料>
1-1-① 学内外への周知	A 使命・目的及び教育研究上の 目的をどのように学生、教 職員、役員、学外関係者に周 知しているか。	a 大学のウェブサイトで使命・ 目的、教育研究上の目的な どを示す部分の URL b 使命・目的及び教育研究上の 目的を検証する会議体の 規則	[使命・目的] 企画課	A	-	・ ホームページ：建学の精神、 教育理念・方針 https://www.oit.ac.jp/oit/about/philosophy.html 〈A_a〉 ・ 教学推進委員会規定〈A_b〉 ・ 大学・大学院運営会議規定 〈A_b〉	・ 大阪工業大学学則 ・ 大阪工業大学大学院学則 ・ 学生便覧 ・ 大学院便覧
			[教育目的] 教務課	A	-		
1-1-② 中期的な計画への反映	A 使命・目的及び教育研究上の 目的を中期的な計画に反映 しているか。		[使命・目的] 企画課	A	-	・ ホームページ：将来構想 https://www.oit.ac.jp/oit/about/steps.html#id02 〈A_a〉 ・ 教学推進委員会規定 〈A_b〉 ・ 大学・大学院運営会議規定 〈A_b〉	・ 第 I 期中期目標・計画 (2023～2027 年度) 2025 年度評価
			[教育目的] 教務課	A	-		
1-1-③ 三つのポリシーへの反映	A 使命・目的及び教育研究上の 目的を三つのポリシーに反 映しているか。		[DP・CP] 教務課	A	-	・ ホームページ：大阪工業大 学の教育方針について https://www.oit.ac.jp/oit/about/policy/#OIT_policy 〈A_a〉 ・ 教学推進委員会規定 〈A_b〉 ・ 大学・大学大学院運営会議 規定 〈A_b〉	・ 各種学生募集要項（学部・ 大学院）
			[AP] 入試課	A	-		
			[使命・目的] 企画課	A	-		
1-1-④ 教育研究組織の構成との整合 性	A 使命・目的及び教育研究上の 目的を達成するために必要 な学部・学科などの教育研 究組織を整備しているか。		[教育目的] 教務課	A	-	・ ホームページ：大学の組織 図〈A_a〉 https://www.oit.ac.jp/oit/about/openinfo.html ・ 組織規定、大阪工業大学学則、 大阪工業大学大学院学則 〈A_b〉	
			[使命・目的] 企画課	A	-		
1-1-⑤ 変化への対応	A 社会情勢や組織の改編など に対応し、必要に応じて使命・ 目的及び教育研究上の目的の 検証を行っているか。		[教育目的] 教務課	A	-	・ ホームページ：事業計画 https://www.oit.ac.jp/oit/about/openinfo.html#id03 (A_a) ・ 教学推進委員会規定 〈A_b〉 ・ 大学・大学院運営会議規定 〈A_b〉	・ 第 I 期中期目標・計画 (2023～2027 年度) 2025 年度評価

基準 2. 内部質保証

基準項目 2 – 1. 内部質保証の組織体制

JIHEE 評価の視点と自己判定の留意点等			担当部署	2025 年度 自己判定 (S・A・B・C)	自己判定が B または C の場合、その理由 /その他備考	※名称の後ろに、該当する「自己判定の留意点」のアルファベットや「指定するエビデンス資料」の番号 を記載ください（例：○○規定〈A_a〉、○○ガイドブック〈A_b〉、○○議事録〈b〉） 該当するエビデンスがない場合は「なし」と記入ください。	
評価の視点	自己判定の留意点	指定するエビデンス資料				<指定するエビデンス資料>	<エビデンス資料>
2-1-① 内部質保証のための組織の整備、責任体制の確立	A 内部質保証に関する全学的な方針を明示しているか。 B 内部質保証のための恒常的な組織体制を整備しているか。 C 内部質保証のための責任体制が明確になっているか。	a 内部質保証に関する全学的な方針 b 内部質保証のための組織図 c 内部質保証に責任を持つ会議体の規則	企画課 (IR センター)	A	-	・2025 年度大阪工業大学自己評価・IR 委員会 資料/議事録<A_a,b> ・大学の組織図 https://www.oit.ac.jp/oit/about/openinfo.html<B_b> ・大学・大学院運営会議規定〈B_b〉 ・大阪工業大学自己評価・IR 委員会規定<B.C_c> ・学部自己評価・IR 委員会規定<B.C_c>	・各自己評価・IR 委員会議事録
			工学部事務室	A	-		
			ロボティクス&デザイン工学部事務室	A	-		
			情報科学部事務室	A	-		
			知的財産学部事務室 大学院知的財産研究科事務室	A	-		

基準項目 2－2．内部質保証のための自己点検・評価

JIHEE 評価の視点と自己判定の留意点等			担当部署	2025 年度 自己判定 (S・A・B・C)	自己判定が B または C の場合、その理由 /その他備考	※名称の後ろに、該当する「自己判定の留意点」のアルファベットや「指定するエビデンス資料」の番号 を記載ください（例：〇〇規定〈A_a〉、〇〇ガイドブック〈A_b〉、〇〇議事録〈b〉） 該当するエビデンスがない場合は「なし」と記入ください。	
評価の視点	自己判定の留意点	指定するエビデンス資料				<指定するエビデンス資料>	<エビデンス資料>
2-2-① 内部質保証のための自主的・ 自律的な自己点検・評価の実 施とその結果の共有	A 内部質保証のための自主的・ 自律的な自己点検・評価を どのように行っているか。 B エビデンスに基づく自己点 検・評価を定期的の実施し ているか。 C 自己点検・評価の結果を学内 で共有しているか。	a 自己点検・評価に関する規則 b 直近の自己点検・評価の報告 書 c 自己点検・評価を担当する会 議体の議事録 d 自己点検・評価の結果を学内 に周知したことを示す文書 e IR などを検討する会議体の 規則	企画課 (IR センター)	A	-	・ 2025 年度大阪工業大学自己 評価・IR 委員会 資料/議事録 <A.B.C_b.c.d> ・ 大阪工業大学自己評価・IR 委 員会規定<A_a> ・ 学部自己評価・IR 委員会規定 <A_a.e> ・ 学部自己評価・IR 委員会資料 ／議事録<A_c.d> ・ 大阪工業大学 IR センター規 定<A_e> ・ 大阪工業大学 2024 年度 自己 点検・評価 (JIHEE 評価基準 チェックリスト) <B_b> ・ ホームページ：大学機関別認 証評価報告書<B_b> ・ ホームページ：知的財産専門 職大学院認証評価 点検・評 価報告書<B_b>	
			工学部事務室	A	-		
			ロボティクス&デザ イン工学部事務室	A	-		
			情報科学部事務室	A	-		
			知的財産学部事務室 大学院知的財産研究 科事務室	S	-		
2-2-② IR (Institutional Research) などを活用した十分な調査・ データの収集と分析	A 現状把握のための十分な調 査・データの収集と分析を 行う体制を整備している か。		企画課 (IR センター)	A	-	・ 大阪工業大学 IR センター規 定<A_a.e> ・ 2025 年度大阪工業大学自己 評価・IR 委員会 資料/議事録 <A_c>	・ アセスメント・ポリシー ・ IR センター構成員の任命稟 議 ・ IR 年報

基準項目 2－3. 内部質保証の機能性

JIHEE 評価の視点と自己判定の留意点等			担当部署	2025 年度 自己判定 (S・A・B・C)	自己判定が B または C の場合、その理由 /その他備考	※名称の後ろに、該当する「自己判定の留意点」のアルファベットや「指定するエビデンス資料」の番号 を記載ください(例:○○規定〈A_a〉、○○ガイドブック〈A_b〉、○○議事録〈b〉) 該当するエビデンスがない場合は「なし」と記入ください。	
評価の視点	自己判定の留意点	指定するエビデンス資料				<指定するエビデンス資料>	<エビデンス資料>
2-3-① 学生の意見・要望の把握・分 析、結果の活用	A アンケートや学生との対話 をはじめとする、学修支援、 学生生活、学修環境などに 対する学生の意見・要望を くみ上げるシステムを適切 に整備しているか。 B 学生の意見・要望の分析結果 を教育研究や大学運営の改 善・向上に反映しているか。	a 学生の意見・要望をくみ上 げ、教育研究や大学運営の 改善・向上につなげるシス テムを示す図など	企画課 (IR センター)	B	学生の意見、要望をく み上げ改善・向上の仕 組み、システムを示す 図<a>が示されていな いため	・大阪工業大学自己評価・IR 委員会規定<A_b.d> ・2025 年度大阪工業大学自己 評価・IR 委員会 資料/議事録 <A.B_e.f> ・学部自己評価・IR 委員会規 定<A.B_b> ・FD 委員会規定<A.B_b> ・大阪工業大学情報科学部教 務担当委員会規定<A.B_b> ・大阪工業大学情報科学部教 務担当委員会議事録<B_e>	・授業アンケート (GAKUEN システム) ・2025 年度 学生代表者会議の 資料/議事録 ・授業アンケートの実施 ・2025 年度学生便覧 ・ホームページキャンパスラ イフ：学生生活について <a href="https://www.oit.ac.jp/gakus
ei/campus_life.html">https://www.oit.ac.jp/gakus ei/campus_life.html ・在学生アンケート調査結果 ・卒業時、修了時アンケート 調査結果 ・2025 年度 アンケート調査に 対するフィードバック <a href="https://www.oit.ac.jp/news/
notice/rl23nr0000001ku9.ht
ml">https://www.oit.ac.jp/news/ notice/rl23nr0000001ku9.ht ml ・ホームページ:FD 活動(FD 刊行物) <a href="https://www.oit.ac.jp/learn
ing/fd.html#id03">https://www.oit.ac.jp/learn ing/fd.html#id03
		b 学生の意見・要望のくみ上げ を計画・実施する会議体の 規則	工学部事務室	A	-		
		c 学外関係者の意見・要望をく み上げ、教育研究や大学運 営の改善・向上につなげる システムを示す図など	ロボティクス&デザ イン工学部事務室	A	-		
		d 学外関係者の意見・要望のく み上げを計画・実施する会 議体の規則	情報科学部事務室	A	-		
		e 三つのポリシーを起点とし た内部質保証を行い、その 結果を教育研究の改善・向 上に生かすことを検討する 会議体の議事録	知的財産学部事務室 大学院知的財産研 究科事務室	A	-		
		f 自己点検・評価などの結果を 大学運営の改善・向上に生 かすことを検討する会議体 の議事録	教務課	A	-		
		g 自己点検・評価などの結果を 学生や学外関係者に公表・ 説明したことを示す文書な ど	学生課	A	-		
2-3-② 学外関係者の意見・要望の把 握・分析、結果の活用	A 学外関係者に意見・要望を聞 き、その分析結果を教育研 究や大学運営の改善・向上 に生かす努力をしている か。		企画課 (IR センター)	B	学外関係者の意見、要 望をくみ上げ改善・向 上の仕組み、システム を示す図<c>が示され ていないため	・大阪工業大学自己評価・IR 委員会規定<A_d> ・2025 年度大阪工業大学自己 評価・IR 委員会 資料/議事録 <A_f>	・2025 年度 外部評価委員会の 資料/議事録

JIHEE 評価の視点と自己判定の留意点等			担当部署	2025 年度 自己判定 (S・A・B・C)	自己判定が B または C の場合、その理由 /その他備考	※名称の後ろに、該当する「自己判定の留意点」のアルファベットや「指定するエビデンス資料」の番号 を記載ください（例：○○規定〈A_a〉、○○ガイドブック〈A_b〉、○○議事録〈b〉） 該当するエビデンスがない場合は「なし」と記入ください。	
評価の視点	自己判定の留意点	指定するエビデンス資料				<指定するエビデンス資料>	<エビデンス資料>
2-3-③ 内部質保証のための学部、学 科、研究科などと大学全体の PDCA サイクルの仕組みの確 立とその機能性	A 三つのポリシーを起点とし た内部質保証を行い、その 結果を教育研究の改善・向 上に反映しているか。 B 自己点検・評価、認証評価及 び設置計画履行状況等調査 などの結果を踏まえた中期 的な計画に基づいた大学運 営の改善・向上のための内 部質保証の仕組みが機能し ているか。 C 自己点検・評価、認証評価な どの結果を積極的に公表・ 説明し、学生や学外関係者 の理解・支持を得られるよ う努力しているか。	a 学生の意見・要望をくみ上 げ、教育研究や大学運営の 改善・向上につなげるシス テムを示す図など	企画課 (IR センター)	A	-	・2025 年度大阪工業大学自己 評価・IR 委員会 資料/議事 録<A.B_b.d.e.f> ・学部自己評価・IR 委員会規 定<A.B_b> ・情報科学部学科長会議議事 録<A.B_e.f> ・情報科学部教授会議事録 <A.B_e.f> ・情報科学研究科委員会議事 録<A.B_e.f> ・情報科学部教務担当委員会 議事録<A.B_e.f> ・学部自己評価・IR 委員会議 事録<B_f> ・ホームページ：認証評価、 自己点検・評価 https://www.oit.ac.jp/oit/ab/out/openinfo.html#id09 <C_g>	・学生代表者会議 資料/議事 録 ・卒業生アンケート結果 ・大阪工業大学情報科学部教務 担当委員会規定 ・大阪工業大学第 I 期中期目 標・計画 ・第 I 期中期目標・計画 (2023～2027 年度) 2025 年度評価
		b 学生の意見・要望のくみ上げ を計画・実施する会議体の 規則	工学部事務室	A	-		
		c 学外関係者の意見・要望をく み上げ、教育研究や大学運 営の改善・向上につなげる システムを示す図など	ロボティクス&デザ イン工学部事務室	A	-		
		d 学外関係者の意見・要望のく み上げを計画・実施する会 議体の規則	情報科学部事務室	A	-		
		e 三つのポリシーを起点とし た内部質保証を行い、その 結果を教育研究の改善・向 上に生かすことを検討する 会議体の議事録	知的財産学部事務室 大学院知的財産研 究科事務室	A	-		
		f 自己点検・評価などの結果を 大学運営の改善・向上に生 かすことを検討する会議体 の議事録					
		g 自己点検・評価などの結果を 学生や学外関係者に公表・ 説明したことを示す文書な ど					

基準 3. 学生

基準項目 3－1. 学生の受入れ

JIHEE 評価の視点と自己判定の留意点等			担当部署	2025 年度 自己判定 (S・A・B・C)	自己判定が B または C の場合、その理由 /その他備考	※名称の後ろに、該当する「自己判定の留意点」のアルファベットや「指定するエビデンス資料」の番号 を記載ください（例：〇〇規定〈A_a〉、〇〇ガイドブック〈A_b〉、〇〇議事録〈b〉） 該当するエビデンスがない場合は「なし」と記入ください。	
評価の視点	自己判定の留意点	指定するエビデンス資料				<指定するエビデンス資料>	<エビデンス資料>
3-1-① アドミッション・ポリシーの 策定と周知	A アドミッション・ポリシーを 定め、周知しているか。	a アドミッション・ポリシーを 示す部分の URL b アドミッション・ポリシーを 策定する会議体の規則 c 入試方法の検討と検証を行 う会議体の規則	入試課	A	-	・ ホームページ：大阪工業大 学の教育方針について-大阪 工業大学の3つのポリシ ー、学部・大学院の教育方 針について https://www.oit.ac.jp/oit/about/policy/ <A_a>	・ 各種学生募集要項（学部・ 大学院） 学部： https://www.oit.ac.jp/admission/outline/document.html 大学院： https://www.oit.ac.jp/admission/graduate/application.html
3-1-② アドミッション・ポリシーに 沿った入学者受入れの実施と その検証	A アドミッション・ポリシーに 沿った入学者選抜制度を整 備しているか。 B 入学者選抜などを、適切な体 制のもとで公正かつ妥当な 方法により実施し、その検 証を行っているか。		入試課	A	-	・ 大学・大学院運営会議規定 <A_b> ・ 大阪工業大学入試委員会規 定<B_c>	
3-1-③ 入学定員に沿った適切な学生 受入れ数の維持	A 入学定員及び収容定員に沿 って在籍学生を適切に確保 しているか。		[収容定員] 教務課	A	-		・ 学則（収容定員） ・ 大学院学則（収容定員） ・ 入学者数の推移 ・ ホームページ：収容定員充足 率 https://www.oit.ac.jp/oit/about/openinfo.html
			[入学定員] 入試課	A	-		

基準項目 3－2．学修支援

JIHEE 評価の視点と自己判定の留意点等			担当部署	2025 年度 自己判定 (S・A・B・C)	自己判定が B または C の場合、その理由 /その他備考	※名称の後ろに、該当する「自己判定の留意点」のアルファベットや「指定するエビデンス資料」の番号 を記載ください（例：〇〇規定〈A_a〉、〇〇ガイドブック〈A_b〉、〇〇議事録〈b〉） 該当するエビデンスがない場合は「なし」と記入ください。	
評価の視点	自己判定の留意点	指定するエビデンス資料				<指定するエビデンス資料>	<エビデンス資料>
3-2-① 教員と職員の協働をはじめとする学修支援体制の整備	A 教職協働による学生への学修支援に関する方針・計画・実施体制を適切に整備・運営しているか。	a 学修支援に関する方針・計画	工学部事務室	A	-	・学業成績不振者ならびに低出席者に対する修学指導年間計画〈A_a〉 ・ディプロマサプリメントシステムによる「卒業時の質保証」の取り組み〈A_a〉 https://www.oit.ac.jp/learning/oit_kyoiku_system.html ・大阪工業大学情報科学部教務担当委員会規定〈A_b.f〉 ・教務委員会規定〈A_b〉 ・教学推進委員会規定〈A_b〉 ・シラバス〈A_d〉	
		b 学修支援に関する会議体の規則	ロボティクス&デザイン工学部事務室	A	-		
		c TA、SA などに関する規則	情報科学部事務室	A	-		
		d オフィスアワーを学生に周知したことを示す文書	知的財産学部事務室 大学院知的財産研究科事務室	A	-		
		e 障がいのある学生への学修支援に関する方針・計画実施状況	教務課	A	-		
3-2-② TA（Teaching Assistant）の活用をはじめとする学修支援の充実	A 学修支援のために、TA や SA(Student Assistant) などを適切に活用しているか。 B オフィスアワー制度を全学的に実施しているか。 C 障がいのある学生への合理的な配慮を行っているか。 D 中途退学、休学及び留年への対応策を講じているか。	f 退学、休学、留年などの実態及び原因分析、改善方策などを検討する会議体の規則	工学部事務室	A	-	・大阪工業大学情報科学部教務担当委員会規定〈A.D_b.f〉 ・ティーチング・アシスタント（TA）要項〈A_c〉 ・ホームページ：WEB シラバス〈B_d〉 ・合理的配慮申請書〈C_e〉 ・教育センターにおける相談員・スタッフの採用〈C_e〉 https://www.oit.ac.jp/learning/kyoikucenter.html#id02 ・各学部自己評価・IR 委員会規則〈f〉 ・自己評価・IR 委員会規定〈f〉	・シラバス作成方針 ・配慮学生の修学支援依頼文書
			ロボティクス&デザイン工学部事務室	A	-		
			情報科学部事務室	A	-		
			知的財産学部事務室 大学院知的財産研究科事務室	A	-		
			教務課	A	-		

基準項目 3－3. キャリア支援

JIHEE 評価の視点と自己判定の留意点等			担当部署	2025 年度 自己判定 (S・A・B・C)	自己判定が B または C の場合、その理由 /その他備考	※名称の後ろに、該当する「自己判定の留意点」のアルファベットや「指定するエビデンス資料」の番号 を記載ください（例：○○規定〈A_a〉、○○ガイドブック〈A_b〉、○○議事録〈b〉） 該当するエビデンスがない場合は「なし」と記入ください。	
評価の視点	自己判定の留意点	指定するエビデンス資料				<指定するエビデンス資料>	<エビデンス資料>
3-3-① 教育課程におけるキャリア教育の実施	A キャリア教育を教育課程に 取入れ、適切に実施してい るか。	a キャリア支援に関する方針・ 計画	工学部事務室	A	-	・キャリア支援委員会議事録 <A_a>	・キャリア形成支援手帳
		b キャリア支援に関する授業 科目名一覧	ロボティクス&デザ イン工学部事務室	S	-	・ホームページ：就職・キャ リア形成 [キャリア形成支 援] <A_a> https://www.oit.ac.jp/career/career.html	
		c キャリア支援に関する会議 体の規則	情報科学部事務室	A	-	・ホームページ：就職・キャ リア形成 [インターンシッ プ] <A_a.d> https://www.oit.ac.jp/career/internship.html	
		d 教育課程外のキャリア支援 のための講座やガイダンス など一覧	知的財産学部事務室 大学院知的財産研究 科事務室	A	-	・ディプロマサブリメントシ ステムによる「卒業時の質 保証」の取り組み<A_a> https://www.oit.ac.jp/learning/oit_kyoiku_system.html	
			キャリア支援課	A	-	・OIT 自律学修（キャリア形 成支援手帳・PROG テス ト）<A_a.d> https://www.oit.ac.jp/learning/self_learning/	
			教務課	S	-	・シラバス（キャリアデザイ ン）<A_b> ・大阪工業大学キャリア支援 委員会規定<A_c> ・PROG テスト開催案内 <A_d> ・情報科学部OGによるキャ リアセミナー開催案内 <A_d> ・インターンシッププログラ ム募集概要<A_d> ・女子キャリア支援セミナー 開催案内<A_d>	

3-3-② キャリア支援体制の整備	A 卒業後の進路に対する相談・助言体制を整備し、適切に運営しているか。		工学部事務室	A	-	・キャリア形成支援手帳<A_a> ・ホームページ：就職・キャリア形成〔キャリア形成支援〕<A_a> ・ホームページ：就職・キャリア形成〔インターンシップ〕<A_a.d> ・ディプロマサプリメントシステムによる「卒業時の質保証」の取り組み<A_a> https://www.oit.ac.jp/learning/oit_kyoiku_system.html ・OIT 自律学修（キャリア形成支援手帳・PROG テスト）<A_a.d> https://www.oit.ac.jp/learning/self_learning/ ・大阪工業大学情報科学部教務担当委員会規定<A_c> ・PROG テスト開催案内<A_d> ・情報科学部OGによるキャリアセミナー<A_d> ・インターンシッププログラム募集概要<A_d> ・女子キャリア支援セミナー開催案内<A_d> ・企業懇談会（知的財産学部・研究科主催）プログラム、参加企業一覧<A-d>	・ホームページ：就職・キャリア形成〔資格取得〕 ・ホームページ：情報公開・データ〔進路・就職状況〕 ・進路が決まった方へのアンケート ・就職システム「OIT 就職ナビ」 ・パンフレット「求人と採用のお願い」
			ロボティクス&デザイン工学部事務室	A	-		
			情報科学部事務室	A	-		
			知的財産学部事務室 大学院知的財産研究科事務室	S	-		
			キャリア支援課	A	-		

基準項目 3－4．学生サービス

JIHEE 評価の視点と自己判定の留意点等			担当部署	2025 年度 自己判定 (S・A・B・C)	自己判定が B ま たは C の場合、 その理由/その 他備考	※名称の後ろに、該当する「自己判定の留意点」のアルファベットや「指定するエビデンス資料」の番号を記載ください（例： ○○規定〈A_a〉、○○ガイドブック〈A_b〉、○○議事録〈b〉） 該当するエビデンスがない場合は「なし」と記入ください。	
評価の視点	自己判定の留意点	指定するエビデンス資料				<指定するエビデンス資料>	<エビデンス資料>
3-4-① 学生生活の安定のための支援	A 学生サービス、厚生補導のた めの組織を設置している か。 B 学生の心身に関する健康相 談、心的支援、生活相談、学 生の課外活動への支援をは じめとする学生サービス を、学生の多様性に配慮し て適切に行っているか。 C 奨学金など学生に対する経 済的な支援を適切に行って いるか。	a 学生生活支援に関する方針・ 計画 b 学生生活支援に関する会議 体の規則 c 学生の課外活動の支援に関 する規則 d 奨学金に関する規則	学生課	S	-	・学生委員会規定<A_b> ・ロボティクス&デザイン工学部学生担当委員 会内規<A_b> ・情報科学部学生担当委員会内規<A_b> ・工学部・知的財産学部・知的財産研究科学生 担当委員会内規<A_b> ・ダイバーシティ推進委員会規定<A_b> ・大学ホームページ_ダイバーシティ・エクイ ティ&インクルージョンの推進に向けて <B_a> ・事務分掌規程<B_c> ・大阪工業大学課外活動規定<B_c> ・学園奨学金規定<C_d> ・児玉奨学基金取扱内規<C_d> ・学園校友会奨学基金取扱内規<C_d> ・学園創立 90 周年記念奨学基金取扱内規 <C_d> ・学園サポーターズ奨学基金取扱内規<C_d> ・「学園創立 100 周年記念募金」奨学金充実 事業取扱内規<C_d> ・「常翔学園 J—Vision37 募金」奨学金充実支 援事業取扱内規<C_d> ・外国人留学生学内奨学金規定<C_d> ・外国人留学生授業料減免規定<C_d> ・大阪工業大学特別奨学生規定<C_d> ・大阪工業大学大学院学内奨学規定<C_d> ・大阪工業大学大学院学内奨学規定内規 <C_d> ・大阪工業大学学内奨学規定<C_d> ・大阪工業大学副島奨学基金取扱内規<C_d> ・大阪工業大学柴山奨学基金取扱内規<C_d> ・大阪工業大学テラサキ奨学基金取扱内規 <C_d> ・大阪工業大学学園創立 9 0 周年記念奨学金規 定<C_d> ・大阪工業大学サポーターズ奨学金規定 <C_d> ・大阪工業大学学園創立 100 周年記念奨学金 規定<C_d> ・大阪工業大学 J—Vision37 奨学金規定<C_d>	・組織規定 ・2025 年度課外活動マニ ュアル ・2025 年度学生便覧 ・2025 年度大学院便覧 ・ホームページ：学生相談 室 ・学生委員会資料 学生相 談件数 ・2025 年度課外活動団体 援助金交付一覧 ・入試ガイド 2026_待生 制度 ・2025 学生便覧_奨学金 ・2025 年度大学院便覧_奨 学金制度 ・ホームページ:学生生 活・奨学金
			厚生課	S	-		

基準項目 3－5．学修環境の整備

JIHEE 評価の視点と自己判定の留意点等			担当部署	2025 年度 自己判定 (S・A・B・C)	自己判定が B また は C の場合、その 理由/その他備考	※名称の後ろに、該当する「自己判定の留意点」のアルファベットや「指定するエビデンス資料」の番号を記載ください (例：〇〇規定〈A_a〉、〇〇ガイドブック〈A_b〉、〇〇議事録〈b〉) 該当するエビデンスがない場合は「なし」と記入ください。	
評価の視点	自己判定の留意点	指定するエビデンス資料				<指定するエビデンス資料>	<エビデンス資料>
3-5-① 校地、校舎などの学修環境の 整備と適切な管理運営	A 教育研究上の目的の達成の ために必要な校地、校舎な どの施設・設備を整備し、適 切に管理運営しているか。 B 快適な学修環境を整備し、か つ有効に活用しているか。 C ICT 環境を適切に整備して いるか。	a 施設・設備の管理に関する規 則 b ICT 環境について学生に周 知したことを示す文書 c 図書館に関する規則 d 図書館利用案内 e 建物の耐震化率を示す文書	会計課 工学部事務室 ロボティクス&デザ イン工学部事務室 情報科学部事務室 知的財産学部事務室 大学院知的財産研究 科事務室 学生課 図書館事務室 情報センター事務室	A A A A A A A A A	- - - - - - - - -	・体育施設使用規定<A_a> ・合宿所の管理および使用規定 <A_a> ・学校基本調査（校舎等の耐震 化率）<A_e> ・学園設置学校校舎等の耐震化 率〈B_e〉 ・学生便覧<C_b> ・大学院便覧<C_b> ・Google ドライブなどの利用 案内<C_b> ・情報センターWeb サイトの施 設・設備紹介ページ<C_b> https://www.oit.ac.jp/cente r/shisetsu.html	・2025 年度学生便覧<A> ・ホームページ：体育施設 <a href="https://www.oit.ac.jp/oit/facility/gy
m.html">https://www.oit.ac.jp/oit/facility/gy m.html ・知的財産学部施設紹介 ・ホームページ：情報センターの利用に ついて <a href="https://www.oit.ac.jp/center/riyou.
html">https://www.oit.ac.jp/center/riyou. html
3-5-② 図書館の有効活用	A 図書館を十分に利用できる 環境を整備し、教育研究に 資する十分な学術情報資料 を提供しているか。		図書館事務室	A	-	・大阪工業大学図書館運営委員 会規定<A_c> ・大阪工業大学図書館利用規定 <A_c.d> ・ホームページ：大阪工業大学 図書館<A_d> <a href="https://www.oit.ac.jp/japan
ese/toshokan/">https://www.oit.ac.jp/japan ese/toshokan/ ・学生便覧<A_d> ・大学院便覧<A_d>	
3-5-③ 施設・設備の安全性・利便性	A 施設・設備は、バリアフリー など安全性と利便性を図 り、学生の多様性に配慮し ているか。 B 施設・設備の安全性（耐震な ど）を計画に基づき適切に 管理しているか。		施設課 会計課 学生課	A A A	- - -	・学校基本調査（校舎等の耐 震化率）<B_e> ・学園設置学校校舎等の耐震 化率<B_e>	・ホームページ：バリアフリーマップ <a href="https://www.oit.ac.jp/oit/access/#id0
7">https://www.oit.ac.jp/oit/access/#id0 7 ・ホームページ：障がいのある学生へ の支援（合理的配慮） <a href="https://www.oit.ac.jp/gakusei/reasona
ble_accommodation.html">https://www.oit.ac.jp/gakusei/reasona ble_accommodation.html ・ホームページ：ダイバーシティ・エ クイティ&インクルージョンの推進 に向けて <a href="https://www.oit.ac.jp/oit/about/diver
sity-equity-inclusion.html">https://www.oit.ac.jp/oit/about/diver sity-equity-inclusion.html

基準 4. 教育課程

基準項目 4 - 1. 単位認定、卒業認定、修了認定

JIHEE 評価の視点と自己判定の留意点等			担当部署	2025 年度 自己判定 (S・A・B・C)	自己判定が B または C の場合、その理由 /その他備考	※名称の後ろに、該当する「自己判定の留意点」のアルファベットや「指定するエビデンス資料」の番号 を記載ください（例：〇〇規定〈A_a〉、〇〇ガイドブック〈A_b〉、〇〇議事録〈b〉） 該当するエビデンスがない場合は「なし」と記入ください。	
評価の視点	自己判定の留意点	指定するエビデンス資料				<指定するエビデンス資料>	<エビデンス資料>
4-1-① ディプロマ・ポリシーの策定 と周知	A ディプロマ・ポリシーを定め、周知しているか。	a ディプロマ・ポリシーを示す部分の URL	工学部事務室	A	-	・ホームページ：ディプロマ・ポリシー<A_a> https://www.oit.ac.jp/oit/abouut/policy/ ・ホームページ：学部の教育方針<A_a> https://www.oit.ac.jp/oit/abouut/policy/faculty.html ・教務委員会規定<A_b> ・大阪工業大学情報科学部教務担当委員会規定<A_b> ・教学推進委員会規定<A_b> ・大学・大学院運営会議規定<A_b> ・学生便覧<A_c> ・大学院便覧<A_c>	
		b ディプロマ・ポリシーを策定する会議体の規則	ロボティクス&デザイン工学部事務室	A	-		
		c 学生にディプロマ・ポリシーの内容を説明する文書など	情報科学部事務室	A	-		
		d 学位規則、学位審査基準	知的財産学部事務室 大学院知的財産研究科事務室	A	-		
		e 進級・卒業・単位認定に関する規則					
		f 単位認定、進級、卒業判定を行う会議体の規則	教務課	A	-		
4-1-② ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準などの策定と周知、厳正な適用	A ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準などを適切に定め、周知し、厳正に適用しているか。 B ディプロマ・ポリシーを踏まえた卒業認定基準、修了認定基準などを適切に定め、周知し、厳正に適用しているか。		工学部事務室	A	-	・学生便覧<A.B_c> ・大学院便覧<A.B_c> ・大阪工業大学入学前既修得単位認定取扱規定<A_e> ・大阪工業大学以外の教育施設等における学修のうち文部科学大臣が定める学修に係る単位認定取扱規定<A_e> ・大阪工業大学コンソーシアム大阪単位互換制度に係る履修・成績の取扱いについて（申し合わせ）<A_e>	・各学部履修申請要領
			ロボティクス&デザイン工学部事務室	A	-		
			情報科学部事務室	A	-		
			知的財産学部事務室 大学院知的財産研究科事務室	A	-		

			教務課	A	-	・大阪工業大学工学部履修規定<A.B_e> ・大阪工業大学ロボティクス&デザイン工学部履修規定<A.B_e> ・大阪工業大学情報科学部履修規定<A.B_e> ・大阪工業大学知的財産学部履修規定<A.B_e> ・大阪工業大学学則<A.B_e.f> ・大阪工業大学大学院学則<A.B_e.f> ・教務委員会規定・教授会規定・研究科委員会規定<A.B_f> ・大阪工業大学情報科学部教授会規定<A.B_f> ・大阪工業大学情報科学部教務担当委員会規定<A.B_f> ・ホームページ：学位論文審査基準、学位論文審査基準とディプロマ・ポリシーとの関連] <B_d> https://www.oit.ac.jp/oit/about/policy/graduate.html ・大阪工業大学学位規定<B_d.e>	
--	--	--	-----	---	---	---	--

基準項目 4－2．教育課程及び教授方法

JIHEE 評価の視点と自己判定の留意点等			担当部署	2025 年度 自己判定 (S・A・B・C)	自己判定が B または C の場合、その理由 /その他備考	※名称の後ろに、該当する「自己判定の留意点」のアルファベットや「指定するエビデンス資料」の番号 を記載ください（例：○○規定〈A_a〉、○○ガイドブック〈A_b〉、○○議事録〈b〉） 該当するエビデンスがない場合は「なし」と記入ください。	
評価の視点	自己判定の留意点	指定するエビデンス資料				<指定するエビデンス資料>	<エビデンス資料>
4-2-① カリキュラム・ポリシーの策 定と周知	A カリキュラム・ポリシーを定 め、周知しているか。	a カリキュラム・ポリシーを 示す部分の URL	工学部事務室	A	-	・ホームページ：学部の教育 方針<A_a> <a href="https://www.oit.ac.jp/oit/abo
ut/policy/faculty.html">https://www.oit.ac.jp/oit/abo ut/policy/faculty.html ・ホームページ：大阪工業大 学の教育方針について <A_a.c> <a href="https://www.oit.ac.jp/oit/abo
ut/policy/">https://www.oit.ac.jp/oit/abo ut/policy/ ・教務委員会規定<A_b> ・大阪工業大学情報科学部教 務担当委員会規定<A_b.f.h> ・教学推進委員会規定 <A_b.f.h> ・学部履修規定<A_e> ・大学・大学院運営会議規定 <A_f>	
		b カリキュラム・ポリシーを 策定する会議体の規則	ロボティクス&デザ イン工学部事務室	A	-		
		c 学生にカリキュラム・ポリシ ーの内容を説明する文書な ど					
		d 教育課程の体系的編成を示 すカリキュラムマップやカ リキュラムツリーなど	情報科学部事務室	A	-		
		e 履修に関する規則	知的財産学部事務室 大学院知的財産研究 科事務室	A	-		
4-2-② カリキュラム・ポリシーとデ ィプロマ・ポリシーとの一貫 性	A カリキュラム・ポリシーは、 ディプロマ・ポリシーとの 一貫性を確保しているか。	f 教育課程を検討する会議体 の規則					
		g シラバス作成に関して教員 に周知したことを示す文書					
		h 教養教育を検討する会議体 の規則	教務課	A	-		
			工学部事務室	A	-	・ホームページ：カリキュ ラム・ポリシー、ディプロ マ・ポリシー、各学科の教 育目標とカリキュラム編成 方針、カリキュラムマップ など<A_a.c.d> <a href="https://www.oit.ac.jp/oit/abo
ut/policy/faculty.html">https://www.oit.ac.jp/oit/abo ut/policy/faculty.html ・教務委員会規定<A_b.f.h> ・大阪工業大学情報科学部教 務担当委員会規定<A_b.f.h> ・各学部履修規定<A_e> ・シラバス作成依頼文書 <A_g> ・シラバス編成方針<A_g> ・シラバス<A_i>	
			ロボティクス&デザ イン工学部事務室	A	-		
			情報科学部事務室	A	-		
			知的財産学部事務室 大学院知的財産研究 科事務室	A	-		
			教務課	A	-		

JIHEE 評価の視点と自己判定の留意点等			担当部署	2025 年度 自己判定 (S・A・B・C)	自己判定が B または C の場合、その理由 /その他備考	※名称の後ろに、該当する「自己判定の留意点」のアルファベットや「指定するエビデンス資料」の番号 を記載ください（例：○○規定〈A_a〉、○○ガイドブック〈A_b〉、○○議事録〈b〉） 該当するエビデンスがない場合は「なし」と記入ください。	
評価の視点	自己判定の留意点	指定するエビデンス資料				<指定するエビデンス資料>	<エビデンス資料>
4-2-③ カリキュラム・ポリシーに沿った教育課程の体系的編成	A カリキュラム・ポリシーに沿った体系的な教育課程を編成し、実施しているか。 B シラバスを適切に整備しているか。 C 履修登録単位数の上限の適切な設定など、単位制度の実質を保つための工夫を行っているか。	a カリキュラム・ポリシーを示す部分の URL b カリキュラム・ポリシーを策定する会議体の規則 c 学生にカリキュラム・ポリシーの内容を説明する文書など d 教育課程の体系的編成を示すカリキュラムマップやカリキュラムツリーなど e 履修に関する規則 f 教育課程を検討する会議体の規則 g シラバス作成に関して教員に周知したことを示す文書 h 教養教育を検討する会議体の規則	工学部事務室 ロボティクス&デザイン工学部事務室 情報科学部事務室 知的財産学部事務室 大学院知的財産研究科事務室 教務課	A A A A A	- - - - -	・ホームページ：カリキュラム・ポリシー、カリキュラムマップ、教育目標とカリキュラム編成方針<A_a.c.d> https://www.oit.ac.jp/oit/abou/policy/faculty.html ・教務委員会規定<A_b.f> ・大阪工業大学情報科学部教務担当委員会規定<A_b.f.h> ・学生便覧、大学院生便覧<A_c> ・各学部履修規定<A.C_e> ・教学推進委員会規定<A_f> ・大学・大学院運営会議規定<A_f> ・シラバス作成依頼文書<B_g> ・WEB シラバス<B_i.j>	・各学部履修申請要領
4-2-④ 教養教育の実施	A 教養教育を適切に実施しているか。		工学部事務室 ロボティクス&デザイン工学部事務室 情報科学部事務室 知的財産学部事務室 大学院知的財産研究科事務室 教務課	A A A A A	- - - - -	・大阪工業大学情報科学部教務担当委員会規定<A_b.f.h> ・カリキュラムマップ等 URL<A_d> https://www.oit.ac.jp/oit/abou/policy/faculty.html ・教務委員会規定<A_h> ・各学部履修規定<A_e> ・教学推進委員会規定<A_f> ・大学・大学院運営会議規定<A_f>	・WEB シラバス ・学部自己評価・IR 委員会規定 ・各履修申請要領

JIHEE 評価の視点と自己判定の留意点等			担当部署	2025 年度 自己判定 (S・A・B・C)	自己判定が B または C の場合、その理由 /その他備考	※名称の後ろに、該当する「自己判定の留意点」のアルファベットや「指定するエビデンス資料」の番号 を記載ください（例：○○規定〈A_a〉、○○ガイドブック〈A_b〉、○○議事録〈b〉） 該当するエビデンスがない場合は「なし」と記入ください。	
評価の視点	自己判定の留意点	指定するエビデンス資料				<指定するエビデンス資料>	<エビデンス資料>
4-2-⑤ 教授方法の工夫と効果的な実 施	A アクティブ・ラーニングな ど、教授方法を工夫してい るか。 B 授業を行う学生数(クラスサ イズなど)は、教育効果を十 分上げられるような人数と なっているか。	a カリキュラム・ポリシーを 示す部分の URL	工学部事務室	A	-	・ホームページ：カリキュ ラム・ポリシー、カリキュ ラムマップ・マトリックス、 教育目標とカリキュラム編 成方針<A_a.c.d> https://www.oit.ac.jp/oit/abouut/policy/ https://www.oit.ac.jp/oit/abouut/policy/faculty.html https://www.oit.ac.jp/oit/abouut/policy/graduate.html ・教務委員会規定<A_b.f.h> ・大阪工業大学情報科学部教 務担当委員会規定<A_b.f.h> ・シラバス作成依頼文書 <A_g> ・WEB シラバス<A_i.j> https://www.oit.ac.jp/learnin/g/syllabus.html#id02 ・各学部履修規定<B_e>	・大阪工業大学自己評価・IR 委 員会規定 ・各学部自己評価・I R 委員会 規定 ・各学部履修申請要領
		b カリキュラム・ポリシーを 策定する会議体の規則	ロボティクス&デザ イン工学部事務室	A	-		
		c 学生にカリキュラム・ポリシ ーの内容を説明する文書など	情報科学部事務室	A	-		
		d 教育課程の体系的編成を示 すカリキュラムマップやカ リキュラムツリーなど	知的財産学部事務室	A	-		
		e 履修に関する規則	大学院知的財産研究 科事務室	A	-		
		f 教育課程を検討する会議体 の規則					
		g シラバス作成に関して教員 に周知したことを示す文書					
		h 教養教育を検討する会議体 の規則	教務課	A	-		

基準項目 4－3．学修成果の把握・評価

JIHEE 評価の視点と自己判定の留意点等			担当部署	2025 年度 自己判定 (S・A・B・C)	自己判定が B ま たは C の場合、その 理由 /その他備考	※名称の後ろに、該当する「自己判定の留意点」のアルファベットや「指定するエビデンス資料」の番号を記載ください（例：〇〇規定〈A_a〉、〇〇ガイドブック〈A_b〉、〇〇議事録〈b〉） 該当するエビデンスがない場合は「なし」と記入ください。	
評価の視点	自己判定の留意点	指定するエビデンス資料				<指定するエビデンス資料>	<エビデンス資料>
4-3-① 三つのポリシーを踏まえた学 修成果の把握・評価方法の確 立とその運用	A 三つのポリシーのうち、特に ディプロマ・ポリシーを踏 まえた学修成果を明示して いるか。 B 学生の学修状況・資格取得状 況・就職状況の調査、学生の 意識調査、卒業時の満足度 調査、就職先の企業アンケ ートなどを実施し、大学が 定めた多様な尺度・指標や 測定方法に基づいて学修成 果を把握・評価しているか。	a 大学が求める学修成果を 示す文書など b 大学が求める学修成果の内 容を学生に説明する文書な ど c 学修成果の把握・評価の方針 d 学修成果の把握・評価の方法 などについて検討する会議 体の規則 e 学修成果の把握・評価のため に実施した調査と分析の結 果 f 学修成果の把握・評価の結果 を、教育内容、方法及び学修 指導の改善にフィードバッ クすることを検討する会議 体の議事録	企画課 (IR センター)	A	-	・DS システム<A.B_a.b> ・ホームページ：教育目標とカリキュラム編成方針<A_a.b> https://www.oit.ac.jp/oit/about/policy/faculty.html ・アセスメント・ポリシー<A.B_c> ・教務委員会規定<B_d> ・大阪工業大学自己評価・IR 委員会規定<B_d> ・各学部自己評価・IR 委員会規定<B_d> ・大阪工業大学情報科学部教務担当委員会規定<B_d> ・IR 年報<B_e> ・2025 年度在学生/卒業時アンケート集計結果<B_e> ・卒業生アンケート<B_e> ・2025 年度企業アンケート集計結果<B_e> ・2025 年度大阪工業大学自己評価・IR 委員会 資料/議事録<B_f> ・大阪工業大学情報科学部教務担当委員会議事録<B_f> ・学部教務委員会資料/議事録<B_f>	
			工学部事務室	S	-		
			ロボティクス&デザ イン工学部事務室	S	-		
			情報科学部事務室	S	-		
			知的財産学部事務室 大学院知的財産研究 科事務室	S	-		
			教務課	A	-		
			キャリア支援課	A	-		
4-3-② 教育内容・方法及び学修指導 などの改善へ向けての学修成 果の把握・評価結果のフィ ードバック	A 学修成果の把握・評価の結果 を教育内容・方法及び学修 指導の改善にフィードバッ クしているか。		企画課 (IR センター)	A	-	・DS システム<A_a.b> ・大阪工業大学情報科学部教務担当委員会規定<A_c.d> ・大阪工業大学情報科学部教務担当委員会議事録<A_c.f> ・大阪工業大学自己評価・IR 委員会規定<B_d> ・各学部自己評価・IR 委員会規定<A_d> ・2025 年度在学生/卒業時アンケート集計結果<A_e> ・本学ホームページ：授業アンケート<A_e> https://www.oit.ac.jp/learning/fd.html ・2025 年度大阪工業大学自己評価・IR 委員会資料/議事録<A_f>	・GAKUEN システムを利用した授業アンケート並びに教員評価（外部評価）アンケートの実施について
			工学部事務室	S	-		
			ロボティクス&デザ イン工学部事務室	S	-		
			情報科学部事務室	S	-		
			知的財産学部事務室 大学院知的財産研究 科事務室	S	-		
			教務課	S	-		

基準 5. 教員・職員教務委員会

基準項目 5－1. 教育研究活動のための管理運営の機能性

JIHEE 評価の視点と自己判定の留意点等			担当部署	2025 年度 自己判定 (S・A・B・C)	自己判定が B または C の場合、その理由 /その他備考	※名称の後ろに、該当する「自己判定の留意点」のアルファベットや「指定するエビデンス資料」の番号 を記載ください（例：○○規定〈A_a〉、○○ガイドブック〈A_b〉、○○議事録〈b〉） 該当するエビデンスがない場合は「なし」と記入ください。	
評価の視点	自己判定の留意点	指定するエビデンス資料				<指定するエビデンス資料>	<エビデンス資料>
5-1-① 学長の適切なリーダーシップ の確立・発揮	A 学長がリーダーシップを適切に 発揮できる体制を構築し、必要 な規則を整備しているか。	a 大学の意思決定に関する組織図 b 大学の意思決定に関する会議 体の規則 c 学長の職務権限に関する規則 d 教授会に関する規則 e 教授会の開催日時・議題一覧 f 学生の退学、停学及び訓告の 処分の手続きが学長によって 定められていることを示す文書 g 事務局組織図 h 事務分掌に関する規則 i 職員採用・昇任の方針・規則	[大学全体] 企画課 [大学全体] 庶務課 工学部事務室 ロボティクス&デザイン工学部 事務室 情報科学部事務室 知的財産学部事務室 大学院知的財産研究科事務室	A A A A A A A	- - - - - - -	・大阪工業大学大学・大学院運営 会議規定<A_b> ・大阪工業大学情報科学部学科 長会議規定<A_b> ・職制に関する規定<A_c> ・組織規定<A_c> ・教授会規定<A_c.d> ・研究科委員会規定<A_c.d> ・大阪工業大学情報科学部教授 会規定<A_c.d> ・大阪工業大学大学院各研究科 委員会規定<A_c.d> ・大阪工業大学学則<A_c.f> ・大阪工業大学大学院学則 <A_c.f> ・大阪工業大学組織図<A_g>	・大阪工業大学 2025 年度学長 方針
5-1-② 権限の適切な分散と責任の明確 化	A 大学の意思決定の権限と責任が 明確になっているか。 B 教授会などの組織上の位置 付け及び役割が明確になって おり、機能しているか。		[大学全体] 企画課 [大学全体] 庶務課 [教授会等] 工学部事務室 [教授会等] ロボティクス&デザイン工学部 事務室 [教授会等] 情報科学部事務室 [教授会等] 知的財産学部事務室 大学院知的財産研究科事務室	A A A A A A	- - - - - -	・大阪工業大学大学・大学院運 営会議規定<A_b> ・大阪工業大学学生委員会規定 <A_b> ・大阪工業大学自己評価・IR 委 員会規定<A_b> ・組織規定<A_c> ・大阪工業大学学則<A.B_d> ・大阪工業大学大学院学則 <A.B_d> ・大阪工業大学学生懲戒規定 <A_f> ・教授会規定<B_c.d> ・研究科委員会規定<B_d> ・2025 年度大阪工業大学行事 日程表<B_e> ・2025 年度教授会議事日程 <B_e> ・教授会資料／議事録<B_e>	

JIHEE 評価の視点と自己判定の留意点等			担当部署	2025 年度 自己判定 (S・A・B・C)	自己判定が B または C の場合、その理由 /その他備考	※名称の後ろに、該当する「自己判定の留意点」のアルファベットや「指定するエビデンス資料」の番号を記載ください（例：〇〇規定〈A_a〉、〇〇ガイドブック〈A_b〉、〇〇議事録〈b〉） 該当するエビデンスがない場合は「なし」と記入ください。	
評価の視点	自己判定の留意点	指定するエビデンス資料				<指定するエビデンス資料>	<エビデンス資料>
5-1-③ 職員の配置と役割の明確化	A 教育研究活動のための管理運営の遂行に必要な職員を適切に配置し、役割を明確化しているか。 B 職員の採用・昇任の方針に基づく規則を定め、かつ適切に運用しているか。	a 大学の意思決定に関する組織図 b 大学の意思決定に関する会議体の規則 c 学長の職務権限に関する規則 d 教授会に関する規則 e 教授会の開催日時・議題一覧 f 学生の退学、停学及び訓告の処分の手続きが学長によって定められていることを示す文書 g 事務局組織図 h 事務分掌に関する規則 i 職員採用・昇任の方針・規則	人事課	A	-	・大阪工業大学組織図<A_g> ・事務分掌規定<A_h> ・事務職員人事評価規定<B_i> ・任用規定<B_i> ・事務職員任用規定<B_i> ・医療職員任用規定<B_i> ・事務職員人事評価委員会規定<B_i>	・組織規定
			庶務課	A	-		

基準項目 5－2．教員の配置

JIHEE 評価の視点と自己判定の留意点等			担当部署	2025 年度 自己判定 (S・A・B・C)	自己判定が B または C の場合、その理由 /その他備考	※名称の後ろに、該当する「自己判定の留意点」のアルファベットや「指定するエビデンス資料」の番号を記載ください（例：○○規定〈A_a〉、○○ガイドブック〈A_b〉、○○議事録〈b〉） 該当するエビデンスがない場合は「なし」と記入ください。	
評価の視点	自己判定の留意点	指定するエビデンス資料				<指定するエビデンス資料>	<エビデンス資料>
5-2-① 教育研究上の目的及び教育課程に即した教員の採用・昇任などによる教員の確保と配置	A 設置基準上必要な教員を確保し、適切に配置しているか。 B 教員の採用・昇任の方針に基づく規則を定め、かつ適切に運用しているか。	a 教員の採用・昇任の方針・規則 b 教員人事に関する会議体の規則	庶務課	A	-	・任用規定<B_a> ・教育職員の任期に関する規定<B_a> ・特任教員規定<B_a> ・大阪工業大学教員選考基準<B_a> ・各学部教員選考委員会規定<B_b>	・2025 年度大阪工業大学教員人事について(2024 年度第 8 回大学・大学院運営会議資料) ・大阪工業大学教員活動評価委員会規定 ・2025 年度教員評価の基本方針

基準項目 5－ 3．教員・職員の研修・職能開発

JIHEE 評価の視点と自己判定の留意点等			担当部署	2025 年度 自己判定 (S・A・B・C)	自己判定が B または C の場合、その理由 /その他備考	※名称の後ろに、該当する「自己判定の留意点」のアルファベットや「指定するエビデンス資料」の番号を記載ください（例：〇〇規定〈A_a〉、〇〇ガイドブック〈A_b〉、〇〇議事録〈b〉） 該当するエビデンスがない場合は「なし」と記入ください。	
評価の視点	自己判定の留意点	指定するエビデンス資料				<指定するエビデンス資料>	<エビデンス資料>
5-3-① FD をはじめとする教育内容・方法などの改善の工夫・開発と効果的な実施	A 教育内容や方法を改善するための研修・研究を教職協働で組織的・計画的に実施し、見直しを行っているか。	a FD の方針・計画 b FD の実施報告書 c SD の方針・計画 d SD の実施報告書	庶務課	A	-	・2025 年度 FD・SD 活動の目的・方針と活動計画について(2025 年度第 2 回大学・大学院運営会議資料)<A_a.c> ・ホームページ：FD 活動<A_b> https://www.oit.ac.jp/learning/fd.html ・情報科学部 FD フォーラム実施報告<A_b> https://jportal.ofc.josho.ac.jp/cbin/cbgrn/grn.cgi/bulletin/viewcid=214&aid=9678	・授業参観案内文書<A> ・FD ワーキンググループ ・大阪工業大学 FD 委員会規定 ・大阪工業大学自己評価・IR 委員会規定 ・各学部自己評価・IR 委員会規定
			工学部事務室	A	-		
			ロボティクス&デザイン工学部事務室	A	-		
			情報科学部事務室	A	-		
			知的財産学部事務室 大学院知的財産研究科事務室	A	-		
			教務課	A	-		
5-3-② SD をはじめとする大学運営に関わる職員の資質・能力向上への取組み	A 職員の資質・能力向上のための研修などを組織的・計画的に実施し、見直しを行っているか。		人事課	A	-	・研修ガイド 2025・2026<A_c> ・2025 年度 FD・SD 活動の目的・方針と活動計画について(2025 年度第 2 回大学・大学院運営会議資料)<A_c> ・専任事務職員人事評価制度の手引き<A_c.d>	・全学 FD・SD フォーラム資料
			庶務課	A	-		
			教務課	A	-		

基準項目 5－4．研究支援

JIHEE 評価の視点と自己判定の留意点等			担当部署	2025 年度 自己判定 (S・A・B・C)	自己判定が B または C の場合、その理由 /その他備考	※名称の後ろに、該当する「自己判定の留意点」のアルファベットや「指定するエビデンス資料」の番号 を記載ください（例：〇〇規定〈A_a〉、〇〇ガイドブック〈A_b〉、〇〇議事録〈b〉） 該当するエビデンスがない場合は「なし」と記入ください。	
評価の視点	自己判定の留意点	指定するエビデンス資料				<指定するエビデンス資料>	<エビデンス資料>
5-4-① 研究環境の整備と適切な管理 運営	A 快適な研究環境を整備し、有 効に活用しているか。	a 研究環境に関する調査の結果	企画課 (IR センター)	A	-	・2025 年度新規採用教員の研究環境整備にかかる助成について (CIDRe) <A_b> ・大阪工業大学競争的研究費における間接経費取扱方針 <A_e> ・競争的研究費による間接経費の個人配分に関するガイドライン+関連資料_2025 年 3 月 11 日 <A_e>	・2025 年度在学生/卒業時アンケート集計結果 ・組織規定 ・2025 年度研究助成費配分に係る計画書、配分一覧など
		b 研究環境整備の方針・計画	研究支援社会連携推進課	B	研究環境を整備しているものの、研究環境に関する調査を実施しておらずエビデンス資料 <a>が不十分のため		
		c 研究倫理に関する規則	工学部事務室	A	-		
		d 研究費の適正利用に関するマニュアル	ロボティクス&デザイン工学部事務室	A	-		
		e 研究活動への資源配分に関する規則	情報科学部事務室	A	-		
		f 研究活動に対する RA など人的支援に関する規則	知的財産学部事務室 大学院知的財産研究科事務室	A	-		
		g 科研費などの申請のために必要な情報を学内に周知したことを示す文書					
5-4-② 研究倫理の確立と厳正な運用	A 研究倫理に関する規則を整備し、厳正に運用しているか。	h 外部資金応募・獲得の実績一覧	研究支援社会連携推進課	A	-	・学校法人常翔学園学術研究倫理憲章<A_c>	・研究倫理教育およびコンプライアンス教育実施計画 ・学校法人常翔学園研究者倫理に関するガイドライン
5-4-③ 研究活動への資源の配分	A 研究活動への資源配分に関する規則を整備し、設備などの物的支援と RA(Research Assistant) などの人的支援を行っているか。 B 研究活動のための外部資金の導入の努力を行っているか。		会計課	A	-	・科研費取扱要領<B_d> ・リサーチ・アシスタント (RA) 要領<A_f> ・2025 科研費獲得セミナー案内文<B_g> ・科学研究費（新規）採択状況について<B_h>	・工学部研究助成金配分一覧、工学部間接経費配分一覧 ・RD 学部研究助成金配付一覧・競争的研究費の間接経費配分計画（研究支援社会連携推進課作成） ・研究助成金配分一覧 ・2025 年度研究プロジェクト学内公募採択結果および助成金額について
			研究支援社会連携推進課	A	-		
			工学部事務室	A	-		
			ロボティクス&デザイン工学部事務室	A	-		
			情報科学部事務室	A	-		
			知的財産学部事務室 大学院知的財産研究科事務室	A	-		

基準 6. 経営・管理と財務

基準項目 6－1. 経営の規律と誠実性

JIHEE 評価の視点と自己判定の留意点等			担当部署	2025 年度 自己判定 (S・A・B・C)	自己判定が B または C の場合、その理由 /その他備考	※名称の後ろに、該当する「自己判定の留意点」のアルファベットや「指定するエビデンス資料」の番号を記載 ください（例：〇〇規定〈A_a〉、〇〇ガイドブック〈A_b〉、〇〇議事録〈b〉） 該当するエビデンスがない場合は「なし」と記入ください。	
評価の視点	自己判定の留意点	指定するエビデンス資料				<指定するエビデンス資料>	<エビデンス資料>
6-1-① 経営の規律と誠実性の維持	A 組織倫理に関する規則に基づき、適切な運営を誠実に 行っているか。 B 法令などに基づき、教学マネジメント指針を参考に、情報 の公表を適切に行っているか。 C 法人の業務の適正を確保 するために必要な内部統制 システムを適切に整備してい るか。	a 組織倫理に関する規則 b 情報公表に関する規則 c 学校教育法施行規則第 172 条の 2 に対応した部分の URL d 私立学校法第 151 条に対応 して公開した部分の URL e 内部統制システムの基本方 針 f 内部統制の組織体制を示す 図 g 内部統制に関する規則 h ハラスメント防止に関する 規則 i 個人情報保護に関する規則 j 危機管理に関する方針・規則 k 危機管理に関するマニユ アル	総務課	A	-	・学校法人常翔学園寄附行為 <A.C_a.g> ・組織規定<A.C_a.f> ・事務分掌規定<A.C_a.f> ・財務情報公開規定<B_b> ・個人情報の保護に関する規定< B_i> ・学校法人常翔学園 内部統制シ ステムに関する基本方針<C_e> ・学校法人常翔学園行動規範<A_a> ・学園紹介 URL<B_c.d> https://www.josho.ac.jp/introduction/ ・情報公開ページ資料（学校教育法 施行規則第 172 条の 2 に対応した 情報公開）<B_c> https://www.oit.ac.jp/oit/about/openinfo.html	・2025 年度新任教員ガイ ダンス(当日配付資料) -教育理念・方針 -2025 年度学校長方針 -規定集の確認方法について -行事日程表、アンビス登録方 法、学園案内および FLOW 確認 URL -安否確認システム（アンビス） への登録について -システムマニュアルの保存方 法について -情報システムの利用について ・ポリシー／コンプライアン ス https://www.oit.ac.jp/oit/policy/ ・規定システムマニュアル
		企画課	A	-			
		庶務課	A	-			
6-1-② 環境保全、人権、安全への配 慮	A 環境や人権について配慮し ているか。 B 学内外に対する危機管理の 体制を整備し、それが適切 に機能しているか。		〔安全への配慮〕 総務課	A	-	・大阪工業大学人権侵害防止委員会 規定<A_h> ・大阪工業大学人権侵害防止に関 するガイドライン<A_h> ・学校法人常翔学園危機管理規定 <B_j> ・防火・防災管理規定<B_j> ・自衛保安隊に関する内規<B_j> ・保安業務規定<B_j> ・災害時行動マニュアル（電子版） <B_k> ・2025 年度災害時行動マニュアル <B_k>	・エネルギー管理規定 ・エネルギー管理規定施行細 則 ・全国ダイバーシティネット ワークに参画(参画大学・機 関一覧) ・人権侵害に関する相談等の 流れ（学生からの相談） ・学生便覧 ・大学院便覧 ・ホームページ：ハラスメン トの相談 https://www.oit.ac.jp/gakusei/humanrights.html ・2025 年度防災訓練(消防署 への防災訓練通報書・実施 計画書) ・大阪工業大学安否確認シ ステム ANPIS への登録案内
			〔環境保全〕 施設課	A	-		
			〔人権への配慮〕 〔安全への配慮〕 庶務課	A	-		
			〔人権への配慮〕 学生課	A	-		

基準項目 6－2．理事会の機能

JIHEE 評価の視点と自己判定の留意点等			担当部署	2025 年度 自己判定 (S・A・B・C)	自己判定が B または C の場合、その理由 /その他備考	※名称の後ろに、該当する「自己判定の留意点」のアルファベットや「指定するエビデンス資料」の番号を記載ください（例：〇〇規定〈A_a〉、〇〇ガイドブック〈A_b〉、〇〇議事録〈b〉） 該当するエビデンスがない場合は「なし」と記入ください。	
評価の視点	自己判定の留意点	指定するエビデンス資料				<指定するエビデンス資料>	<エビデンス資料>
6-2-① 使命・目的の達成に向けて意思決定ができる体制の整備とその機能性	A 使命・目的の達成に向けて意思決定ができる体制を整備し、それが適切に機能しているか。 B 理事会の運営を適切に行っているか。 C 理事の選任を適切に行っているか。	a 法人の意思決定に関する組織図 b 予算・決算を承認した際の理事会の議事録 c 理事を選任する会議体の規則 d 理事を選任した際の会議体の議事録 e 中期的な計画を承認・見直しした際の理事会の議事録 f 理事が職務執行状況を理事会に報告したことを示す文書	法人室	A	-	・組織規定 学園組織図 1<A_a> ・2024 年度第 13 回理事会議事録<B_b> ・2026 年度第 2 回理事会議事録<B_b> ・規定：学校法人常翔学園寄附行為、学校法人常翔学園役員選考手続規定<C_c> ・2025 年度第 2 回理事選任機関会議議事録<C_d> ・2025 年度第 4 回理事選任機関会議議事録<C_d>	
6-2-② 使命・目的の達成への継続的努力	A 大学の使命・目的を達成するために継続的な努力をしているか。		法人室	A	-	・2022 年度第 6 回理事会議事録<A_e> ・2025 年度第 4.8.12.16 回理事会資料：「理事長および業務執行理事の職務執行状況の報告について」<A_f>	・大阪工業大学 2025 年度学長方針 ・第 I 期中期目標・計画（2023～2027 年度）2025 年度評価
			企画課	A	-		

基準項目 6－3．管理運営の円滑化とチェック機能

JIHEE 評価の視点と自己判定の留意点等			担当部署	2025 年度 自己判定 (S・A・B・C)	自己判定が B または C の場合、その理由 /その他備考	※名称の後ろに、該当する「自己判定の留意点」のアルファベットや「指定するエビデンス資料」の番号を記載ください（例：〇〇規定〈A_a〉、〇〇ガイドブック〈A_b〉、〇〇議事録〈b〉） 該当するエビデンスがない場合は「なし」と記入ください。	
評価の視点	自己判定の留意点	指定するエビデンス資料				<指定するエビデンス資料>	<エビデンス資料>
6-3-① 法人の意思決定の円滑化	A 意思決定において、理事会と評議員会が意思疎通と連携を適切に行っているか。 B 教職員の提案などをくみ上げる仕組みを整備しているか。	a 評議員を選任した際の会議体の議事録 b 監事・会計監査人を選任した際の評議員会の議事録 c 予算・決算を審議した際の評議員会の議事録 d 監事監査に関する規則 e 監事監査計画書	監事室	A	-	・2025 年度学校法人常翔学園 監事監査計画<A_e>	・2025 年度監査報告書 ・組織規定 ・学校法人常翔学園寄附行為、学校法人常翔学園役員選考手続規定 ・学園組織図 ・2025 年度理事長方針 ・大阪工業大学 2025 年度学長方針
			法人室	A	-		
			人事課	A	-		
			庶務課	A	-		
6-3-② 評議員会と監事のチェック機能	A 評議員の選任を適切に行っているか。 B 評議員会の運営を適切に行っているか。 C 監事の選任を適切に行っているか。 D 監事は、監事の職務を適切に行っているか。		監事室	A	-	・2025 年度第 3 回評議員選任委員会議事録<A_a> ・2025 年度第 2 回評議員会議事録（会計監査人）<B_b> ・2024 年度第 7 回評議員会議事録<B_c> ・2026 年度第 2 回評議員会議事録<B_c> ・2024 年度第 4 回理事会議事録、2024 年度第 4 回評議員会議事録（監事）<C_b> ・学校法人常翔学園寄附行為（第 29 条 監事の職務）<D_d> ・監事監査規定<D_d> ・2025 年度学校法人常翔学園監事監査計画<D_e>	・学校法人常翔学園内部統制システムに関する基本方針 ・理事会、評議員会出席状況、設置学校重要会議出席状況 ・2025 年度監査報告書
			法人室	A	-		

基準項目 6－4．財務基盤と収支

JIHEE 評価の視点と自己判定の留意点等			担当部署	2025 年度 自己判定 (S・A・B・C)	自己判定が B または C の場合、その理由 /その他備考	※名称の後ろに、該当する「自己判定の留意点」のアルファベットや「指定するエビデンス資料」の番号を記載ください（例：〇〇規定〈A_a〉、〇〇ガイドブック〈A_b〉、〇〇議事録〈b〉） 該当するエビデンスがない場合は「なし」と記入ください。	
評価の視点	自己判定の留意点	指定するエビデンス資料				<指定するエビデンス資料>	<エビデンス資料>
6-4-① 財務基盤の確立	A 大学を運営するために必要な財務基盤を確立しているか。	a 予算編成方針 b 財務計画書 c 外部資金導入の実績 d 資産運用に関する規則	財務課	A	-	・ 予算編成方針<A_a> ・ 2025 年度当初予算編成概要<A_a>	
			会計課	A	-	・ 第 I 期中期目標・計画（2023～2027 年度）<A_b>	
6-4-② 収支バランスの確保	A 収入と支出のバランスが保たれているか。 B 外部資金の導入の努力を行っているか。		財務課	A	-	・ 予算編成方針<A.B_a> ・ 第 I 期中期目標・計画（2023～2027 年度）<A_b> ・ 外部資金採択一覧 – 政府系・民間<B_c> https://www.research.oit.ac.jp/liaison-saitaku/	・ 事業活動収支予算書 ・ 事業報告書
			会計課	A	-		
6-4-③ 中期的な計画に基づく適切な財務運営	A 中期的な計画及びその裏付けとなる財務計画に基づく財務運営を行っているか。		財務課	A	-	・ 第 I 期中期目標・計画（2023～2027 年度）<A_b> ・ 第 I 期中期目標・計画（財務）<A_b> ・ 資金運用規定<A_d>	・ 事業報告書
			資金運用課	A	-		
			会計課	A	-		

基準項目 6－5．会計

JIHEE 評価の視点と自己判定の留意点等			担当部署	2025 年度 自己判定 (S・A・B・C)	自己判定が B または C の場合、その理由 /その他備考	※名称の後ろに、該当する「自己判定の留意点」のアルファベットや「指定するエビデンス資料」の番号を記載ください（例：〇〇規定〈A_a〉、〇〇ガイドブック〈A_b〉、〇〇議事録〈b〉） 該当するエビデンスがない場合は「なし」と記入ください。	
評価の視点	自己判定の留意点	指定するエビデンス資料				＜指定するエビデンス資料＞	＜エビデンス資料＞
6-5-① 会計処理の適正な実施	A 学校法人会計基準や経理に関する規則などに基づく会計処理を適正に実施しているか。 B 予算と著しくかい離がある決算額の科目について、補正予算を編成しているか。	a 経理に関する規則 b 会計監査人の選任に関する規則 c 会計監査人が監事に報告した内容を示す文書など	財務課	A	-	・ 予算執行規定<A_a> ・ 決算規定<A_a> ・ 予算編成規定<A.B_a> ・ 会計監査人の監査報告書<A_c>	・ 監事の監査報告書 ・ 予算編成方針 ・ 2025 年度補正予算編成概要
			会計課	A	-		
6-5-② 会計監査の体制整備と厳正な実施	A 会計監査人の選任を適切に行っているか。 B 会計監査などを行う体制を整備し、厳正に実施しているか。		監事室	A	-	・ 学校法人常翔学園寄附行為<A_b> ・ 2025 年度独立監査人の監査報告書<B_c> ・ あずさ監査法人 2025 年度監査結果概要報告書<B_c> ・ 会計監査人の監査報告書<B_c> ・ 監査報告会資料<B_c>	・ 2025 年度第 2 回評議員会議事録 ・ 監事監査規定 ・ 会計監査人、監事、内部監査室とのミーティング実施状況 ・ 2025 年度監査報告書 ・ 2025 年度内部監査報告書（総括）
			法人室	A	-		
			内部監査室	A	-		
			財務課	A	-		